

血液検体をご提供いただいた方へ

【研究課題名】

慢性腎臓病(CKD)患者の血中 AIM (Apoptosis Inhibitor of Macrophage) および
関連タンパク質・臨床データの解析

【審査番号】

【研究の対象】

社会医療法人川島会川島病院に通院・入院中の患者様のうち、検体・臨床情報提供に同意された患者さんを対象とします。

また、社会医療法人川島会川島病院にて 2015 年 8 月 11 日～2019 年 12 月 12 日に末期腎不全透析導入前採血を行なった方が対象です。

(既に末期腎不全にて上記期間に透析導入となっており、透析導入前採血をした患者様については、臨床診断のために検体の残血清を保存しており、研究に使用させていただきます。もし研究使用を承諾されない方はご連絡下さい。)

【研究期間】

承認後～2024 年 3 月 31 日

【研究の目的】

CKD 患者さんの血中の AIM および関連タンパク質濃度、尿毒症関連物質濃度を測定し、臨床データと合わせて、AIM 値の病態や予後との関連、同一患者の経時的変化や透析による変化などを解析することを目的とします。

また、非 CKD 患者さんの血液と臨床データも解析し、CKD 患者さんと非 CKD 患者さんの比較も行います。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。社会医療法人川島会川島病院に通院・入院中に通常診療上で採取した血液の一部を用いて分析を行います。

【研究に利用する試料・情報】

社会医療法人川島会川島病院にて通常診療上で採取した血清における AIM 関連値を測定し、臨床データとあわせて分析します。対象となる血清、データはともに、社会医療法人川島会川島病院によって匿名化されて管理されているものです。匿名化されたまま川島病院から研究責任者に提供されます。そのため、この研究はどの血清やデータがどの患者さんのものか識別できない状態で行われます。検体の測定は東京大学で行われます。

研究の結果をもとに、医学の論文や学会などで発表されることがありますが、その場合でも個人が特定されることはありません。

【個人情報の保護】

あなたの人体試料（血液）は、送付前に氏名・住所・電話番号等連絡先・生年月日等の個人情報を削除し、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、東京大学へ送付され、鍵のかかる冷凍庫および、パスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、事務局において、この符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

この研究のためにご自分の（あるいはご家族の）データを使用してほしくない場合は下記の研究事務局まで 2023 年 3 月 31 日までにご連絡ください。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。なお、本研究へのデータの使用を拒否されても、不利益を受けることはありません。

【研究機関名及び本院の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター
分子病態医科学部門 教授 宮崎 徹

患者情報および試料の提供機関：社会医療法人川島会 川島病院
腎臓内科 水口 潤
井上 朋子

検体の測定・解析に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科・疾患生命工学センター・分子病態医科学部門の運営費（AMED LEAP メチニコフ創薬）から支出されています。

尚、研究参加者への謝金はございません。

2020 年 1 月

【問い合わせ先】

社会医療法人川島会 川島病院
腎臓内科 井上 朋子
住所：徳島県徳島市北佐古一番町1-39
電話：088-631-0110
FAX：088-631-5500